

with コロナな短大入学前学習の設計

田中洋一¹ 澤崎敏文¹

概要 : COVID-19 対策として実施したオンライン授業をふまえ、2021 年度から修正した、地方私立短期大学における入学前学習プログラムの設計を報告する。

キーワード : 入学前学習, with コロナ, オンライン学習, LMS

Designing of Pre-College Studies in the COVID-19 era

YOICHI TANAKA¹ TOSHIFUMI SAWAZAKI¹

1. はじめに

福井県の私立女子短期大学である仁愛女子短期大学（以下、本学と記す）は生活科学学科と幼児教育学科（1 学年の定員 100 名）の 2 学科からなり、生活科学学科は生活デザイン専攻（1 学年の定員 30 名）、生活情報専攻（1 学年の定員 70 名）、食物栄養専攻（1 学年の定員 40 名）の 3 専攻であったが、2021 年 4 月に生活情報専攻と生活デザイン専攻を融合し、生活情報デザイン専攻（以下、本専攻と記す）を新設した。

本学の教育学習支援情報システム（以下、CLE と記す）としては、2004 年からオープンソース LMS の Moodle、2009 年からオープンソース e ポートフォリオの Mahara を利用している。学生用メールは、全国的にも早い時期から Gmail を使用しているため、Google Workspace for Education が利用可能である。積極的に活用はしていないが、Microsoft 365 の利用も可能である。オンライン会議アプリは、Zoom の教育機関向けプランを使用している。

2020 年度は、4 月初めに入学式の中止や授業開始日の延期は確定していたが、実習を中心とした短期大学の特性を考慮し、面接授業の可能性を模索していた。しかし、福井県における COVID-19 感染状況の悪化が止まらず、4/17 には今年度前期のフル・オンライン授業が決定した。4/22 には遠隔授業実施会議を実施し、「仁愛女子短期大学の遠隔授業等の実施に係るガイドライン」を策定した。本学のオンライン授業は下記の 3 つである。

- ① 講義資料・課題提示（非同期型）
- ② 収録内容オンデマンド配信（非同期型）
- ③ リアルタイム配信（同期型）

本学におけるオンライン授業の指針としては、すべての授業科目における仁短 Moodle の利用、非同期型の推奨、オンデマンド動画は仁短 YouTube にアップロードしたリン

クを Moodle に置くこと等がある。リアルタイム配信（同期型）科目の場合、情報メディア教育支援室が Moodle の各コースに Zoom ミーティングのリンクを貼り、学び支援課がホストとしてミーティングを立ち上げた後、担当教員へホストを移譲する運用方法を取っている。2020 年度後期以降は、福井県内の COVID-19 感染状況を鑑みて、面接授業にオンライン授業を組み合わせ、授業を運営している。

本稿では、2019 年度まで対面にて実施していた入学前セミナー等を 2020 年度以降どのようにリデザインしたか、本専攻の入学前学習プログラムに関して報告する。

2. before コロナの入学前学習

本学の入学前学習プログラムは、基本的に、推薦入試や AO 入試（現在では、総合型選抜や学校推薦型選抜）で 12 月末までに合格した入学予定者を対象としていた。

2.1 生活情報専攻の入学前学習

生活情報専攻では、筆者が専攻主任になった年度に設計した入学前学習プログラムを微修正しながら 2019 年度まで約 10 年間継続して実施してきた。入学前学習プログラムを大きく分けると、下記の 3 つからなる。

- ① 入学前課題 1 : ペン字練習帖
- ② 入学前セミナー@仁短「大学での学び方入門」
 - アイスブレイク（仲間づくり）
 - ノートの取り方
 - レポートの書き方
 - アイデアの出し方
 - アイデアのまとめ方
 - グループワーク「3 年後の自分～魅力的な女性になるために～」
 - プレゼンテーション

¹ 仁愛女子短期大学
Jin-ai Women's College

③ 入学前課題2：ウォーミングアップレポート

①12 月末に入学前課題1を郵送し、自宅にて個別学習。
②2 月に本学で開催する入学前セミナーに、ペン字練習帖を持参する。③課題図書『聞く力』『伝える力』『女性の品格』から1冊読み、手書きのレポートを4月の新入生オリエンテーションに持参する。

2.2 生活デザイン専攻の入学前学習

生活デザイン専攻は、毎年2月に福井市美術館にて卒業研究制作展（以下、卒展と記す）を開催していたため、入学予定者が卒展に参加した後、レポートを作成することが入学前学習であった。

3. with コロナの入学前学習

3.1 入学前学習のCLE

生活情報専攻では、以前から仁短 Moodle や Mahara 等、CLE を用いた入学前学習プログラムを模索していたが、入学前の高校生へのアカウント付与にこの足を踏んでいたのが実情である。しかし、COVID-19 感染対策を考えると、2020 年度は対面での入学前セミナーは実施できないことが12月には確定した。また、2021 年度以降も、2020 年度同様、すべての授業で仁短 Moodle を用いることが決まっていたため、本専攻のみ、入学予定者から個人のメールアドレスを収集し、仁短 Moodle にプレアカウントを作成することとした。

2021 年度は、面接授業に加え、収録内容オンデマンド配信（非同期型）やリアルタイム配信（同期型）も組み合わせて授業を実施するため、Moodle、YouTube、zoom 等の CLE に慣れることも入学前学習プログラムの目的とした。

3.2 生活情報デザイン専攻の2020年度入学前学習

2020 年度に実施した生活情報デザイン専攻入学前学習プログラムを大きく分けると、下記の5つからなる。

- ① 入学前課題1：ペン字練習帖
- ② 入学前学習1：仁短 Moodle に慣れる
 - ガイダンス動画を視聴
 - 課題の提出方法（オンラインテキスト、写真）
※ペン字練習帖の指定ページをスマートフォンで撮影して、写真を提出。
 - レポートの作成方法（動画、チェックリスト、ルーブリック）
 - zoom の使い方（説明、アンケート）
- ③ 入学前セミナー@zoom「大学での学び方入門」
 - アイスブレイク（仲間づくり）
 - 質疑応答
- ④ 入学前学習2：卒業研究動画の視聴

- morebi:森田駅を美術館に
- イラストに関する研究
- SNS の違いによる情報発信の比較
- 脱出ゲーム:地震について学ぶ
- おうちカフェにおける集中度の変化
- 化粧について
- morefuku:マイクロツーリズムな県内旅のご案内
- 女の子は可愛くなる！:
毎日が楽しくなるメイク研究
- 通学路の安心安全マップ
- 居ル場夢_NO 密で濃密なアルバム作り

⑤ 入学前課題2：入学前レポート

①12 月末に入学前課題1を郵送し、自宅にて個別学習。
②1 月末から仁短 Moodle に慣れるように、少しずつコンテンツを追加。③2/16（火）14:00～15:30 に、zoom にて入学前セミナーを実施。入学前予定者 105 名を 18 チームに分け、在学生1名ずつをファシリテータとして配置して、ブレイクアウトルームを用いたグループワークも行った。④担当教員ごとの卒業研究例として、生活情報専攻6ゼミ（各5分程度）及び生活デザイン専攻4ゼミ（各9分程度）、計10本の動画を視聴。⑤卒研発表動画のうち、印象に残った2～3つに関して入学前レポートを手書きで作成し、4月の新入生オリエンテーションに持参する。

3.3 生活情報デザイン専攻の2021年度入学前学習

2021 年度に実施した生活情報デザイン専攻入学前学習プログラムは、基本的には2020 年度と同様であるが、入学前セミナーを実施しなかった。年末には COVID-19 が収束しつつあったため、入学前セミナーを対面で開催する予定をたてていたが、オミクロン株の流行に伴い、セミナー自体を中止とした。2021 年度の卒業研究は、下記8ゼミの動画とした。

- つきのかけら
- 夢についての研究
- おみくじアプリ制作に関する実践研究
- 郷土料理が学べるゲームの制作
- BGM が脳にもたらす効果
- さんりはまベジドル
- 子どもに対する英語教育について
- Staffcation

4. with コロナな入学前学習の評価

4.1 1回生に対するアンケート調査

2022 年度1回生に対して、2021 年度入学前学習プログラムに関するアンケート調査を5/10に実施した。有効回答数は35件である。調査内容は、下記の4項目である。

(1) 仁短 Moodle を使用するのは、どうですか？

仁短 Moodle を使用することに対して、「良い」は77%と、とても多い。また、「どちらかと言えば良い」17%を合わせると、94%が良いという意見である。ただし、6%の学生が「どちらかと言えば、良くない」を選んでいる。

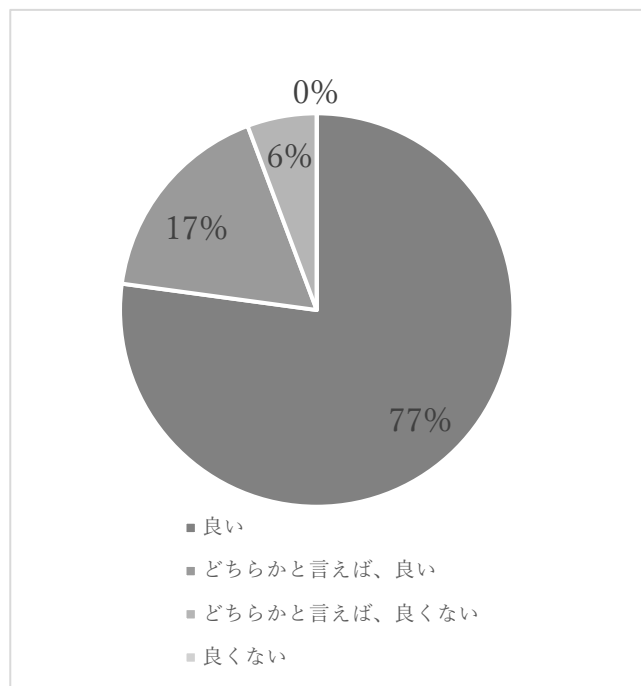


図 1 Moodle の利用

(2) 仁短 YouTube 動画を視聴するのは、どうですか？

仁短 YouTube 動画視聴に対して「良い」が60%であり、Moodle に比べると少し少ない。また、「どちらかと言えば良い」37%を合わせると97%であり、Moodle よりも多い。

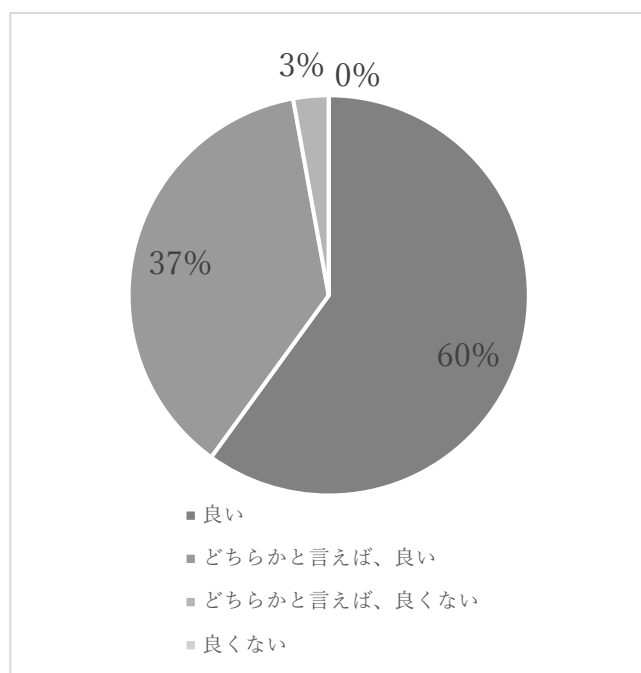


図 2 YouTube の利用

(3) zoom による入学前セミナーは、どうですか？

zoom による入学前セミナーに対して、「良い」は68%であり、「どちらかと言えば良い」23%を合わせると、91%が良いという意見である。2022年度前期は、本専攻では zoom の授業が無いが、インターンシップや就職活動を考えると慣れておきたいようである。

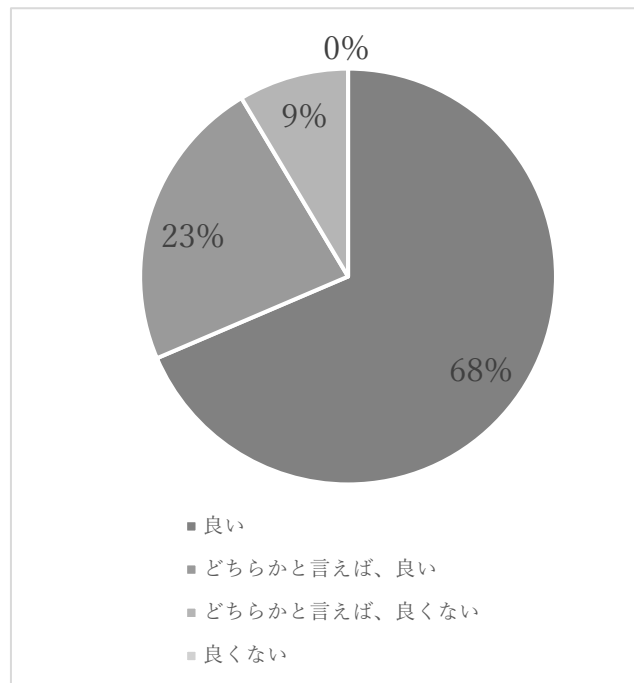


図 3 zoom の利用

(4) 対面での入学前セミナーは、どうですか？

対面による入学前セミナーに対して、「良い」は49%であり、「どちらかと言えば良い」34%を合わせると、83%が良いという意見である。「ない方が良い」学生も3%いる。

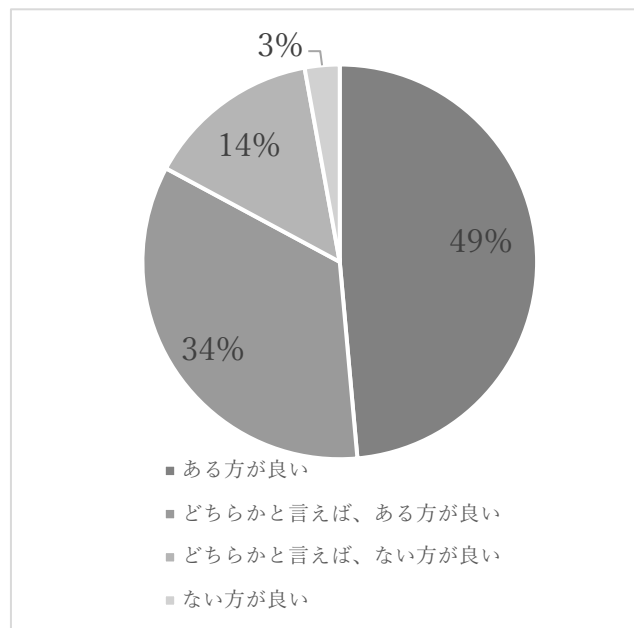


図 4 対面セミナーの実施

4.2 教育課程への学生インタビュー

2021年度後期の初めに、生活情報専攻2回生4名、生活デザイン専攻2回生3名、生活情報デザイン専攻1回生4名に対して、前期の授業評価アンケート結果を示した上で、教育課程や教育方法への改善点等のインタビューを実施した。その結果、本学学生にとっては、よく考えられた授業設計だとしても、zoomのブレイクアウトルームよりも、面接授業のグループワークの方が真剣に取り組む学生が多く、学習効果が高いようである。オンデマンド授業に関しては、タスクマネジメントの得手不得手はあるが、自分の理解に合わせて学び直せるため、一定の評価はあった。そのため、本専攻では、2022年度は面接授業を基本として、学習効果の向上が見込める科目のみオンデマンド授業での実施とした。つまり、zoomでのリアルタイム配信（同期型）オンライン授業は、一旦廃止した。

上記の本専攻カリキュラム設計及び教育方法指針に、前節のアンケート調査結果を加味した結果、2022年度の入学前学習プログラムは、下記5つを設計指針として研修設計を行う予定である。

- ① 仁短 Moodle 利用の習慣化
- ② 仁短 YouTube 利用の習慣化
- ③ zoom を用いた入学前セミナーの実施
- ④ 大学での学び方を学ぶ
- ⑤ ペン字練習後の手書きレポート作成

5. おわりに

今回紹介した入学前学習プログラムに関する学生アンケート調査は、本稿執筆のために急遽実施したため、回答率が低く、2回生も含め、改めて調査を実施したいと考えている。また、入学後における仁短 Moodle 等の活用を観察していると、with コロナな短大入学前学習の設計は概ね目的を達成していると言える。今後も学生の意見を取り入れ、最適な入学前プログラムをリデザインしていくと共に、その学習効果を明らかにしていきたい。

参考文献

- [1] 田中洋一, 野本尚美, 島田貢明. 地方私立短期大学におけるオンライン授業の設計. 情報処理学会研究報告, 2021, Vol.2021-CLE-33, No.12, pp.1-4